大分県防災情報システム（ネットワーク網）

回線系統

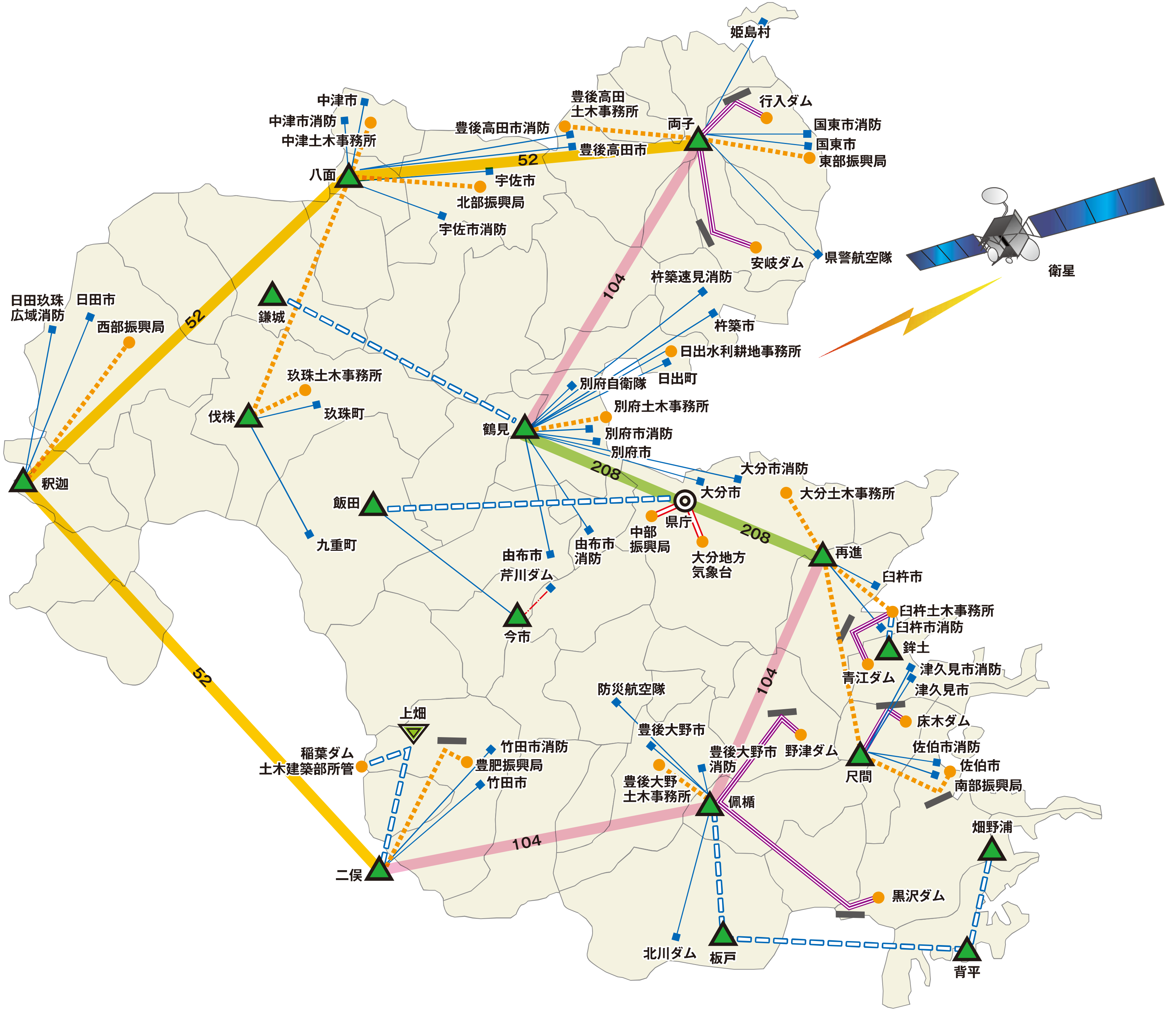
1　県庁と中継局をループ化し、県振興局や土木事務所、河川ダム管理事務所の間を多重無線回線で構成します。また、中継局から直接接続できない局については、反射板を利用して回線を結びます。

2　県庁に衛星地球局を設置し、地域衛星通信ネットワークにより国、他の都道府県との間を衛星回線で構成します。

3　市町村・消防本部や防災関係機関（自衛隊、海保、日赤、NHK）には260MHz帯移動無線機（半固定型）を設置し、県との間は260MHz帯移動無線回線で構成します。

4　県庁や県振興局等と公用車の間は、260MHz帯移動無線回線で構成します。

5　県庁と県振興局や単独土木事務所、市町村、消防本部との間は豊の国ハイパーネットワーク（自営光回線）による有線回線を構成し、防災無線回線との2重化を図っています。

●凡例

	県庁局
	中継局
	中継局（土木建築部所管）
	支部局
半固定	市町村、消防、防災関係機関
	7.5GHz帯多重無線回線（208M）
	7.5GHz帯多重無線回線（104M）
	7.5GHz帯多重無線回線（52M）
	7.5GHz帯多重無線回線（26M）
	7.5GHz帯簡易多重無線回線（13M）
	7.5GHz帯多重無線回線（13M）
	260MHz帯移動無線回線
	無線LAN
	有線回線
	反射板